

1. 組織の理念 「ラオスのこども」は、公正で平和な社会づくりに貢献することを目的として、子どもたちが自らの力を伸ばし、人生を主体的に選択できるよう、日本とラオスの人々が協働しながら、読書に親しむ環境をつくります。
2. 組織の活動の原則 「ラオスのこども」は、次のことを大切に活動します。
 - ・成長の原則 私たちは、自ら学び、自分の力を伸ばします。
 - ・自己決定の原則 私たちは、自ら考え、人生を主体的に選択します。
 - ・協調の原則 私たちは、他者と協調をしながら、自己実現を図ります。
 - ・平和の原則 私たちは、すべての人が平等で、公正な社会を作ります。
3. 今期の重点目標 これまで手掛てきた主たる3事業「読書推進」、「出版」、「子どもセンター」を着実に実施し、より質の高いものとします。
 - ・その活動を支える募金力を高め、とりわけ自己資金の拡充に努めます。
 - ・前記二つの重点目標を達成するために、人材育成に取り組みます。
 - ・東京事務所とラオス事務所のより緊密な連携を構築します。

I プロジェクト

項目	戦略目標	【資金】 指標	2019年度 2019年7月～2020年6月	2020年度 2020年7月～2021年6月	2021年度 2021年7月～2022年6月
1 読書推進	<p><中等学校の図書館建設></p> <p>◆読書環境が十分でない大規模中等学校で、図書館を設置し、村教育開発委員会(VE DC)と協働しながら、図書館活動の活性化と定着を進める</p>	<p>【日本NGO連携無償資金協力(N連)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヴィエンチャン県3校で図書館が建設され、VEDC・教員・学生ボランティアが研修を受ける ・VEDCが図書館活動をサポートする 	<ul style="list-style-type: none"> ・県郡協働枠組の構築:ヴィエンチャン県ボンホン郡教育局への研修をおこなう ・ボンサイ中等学校で図書館建設 ・ボンサイ中等学校VEDCメンバーへの研修 ・ボンサイ中等学校の教師、生徒に図書館研修を実施 ・図書館運営のモニタリング・評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・サカ中等学校、ヒンフープ中等学校で図書館を建設 ・サカ・ヒンフープ中等学校のVEDCメンバーへの研修 ・サカ・ヒンフープ中等学校の教師、生徒に図書館研修を実施 ・ボンサイ中等学校で、図書館活動定着のために、読書推進活動の研修を実施 ・図書館運営のモニタリング・評価 	<ul style="list-style-type: none"> ・サカ・ヒンフープ中等学校で図書館活動定着のために、読書推進活動の研修を実施 ・図書館運営のモニタリング ・読書推進活動の普及と活性化を目的とした地域イベントを開催する ・終了時評価
	<p><学校図書室の整備></p> <p>◆既設置学校図書室を再活性化化する</p>	<p>【指定募金、企業、ベルマーク財団等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既設置学校図書室のフォローアップが15か所完了 ・各図書室において、担当者が設置され、図書室のサービスが定期的に提供されている ・各図書室で、VEDCとの連携が進む 	<ul style="list-style-type: none"> ・既設置図書室を訪問して、状況調査を8か所でおこなう(VTE都3、VTE県ボンホン郡4、ヒンフープ郡1) ※VTE=ヴィエンチャン ・既設置図書室の現状に関する情報収集を7か所でおこなう(ルアンパハン県3、サワンナケート1、チャムパサック県2、VTE県1) ・訪問調査及び情報収集をした図書室で、必要なフォローアップ計画をたてて、実行する 	<ul style="list-style-type: none"> ・既設置図書室を訪問して、状況調査を7か所でおこなう(VTE県ヴィエンカム郡2、ケオウドム郡3、トゥラコム郡2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度調査した既設置図書室で必要なフォローアップを実施 ・学校図書室と当該VEDCとの連携を促進する活動を行う
	<p>◆新規図書室の設置</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新規で13か所の図書室が整備される 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規図書室を7か所開設(VTE都2、VTE県1、アッタプー県4) 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規図書室を3か所開設 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規図書室を3か所開設
	<p><ALC図書館活動></p> <p>◆土曜開館を維持し、スタッフによる日常的な子どもたちに対する働きかけを継続する</p> <p>◆図書室活動でのノウハウを得る</p>	<p>【指定募金、自己資金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・読書の場に加え、子どもたちが主体的に参加出来るアクティビティを工夫し、来館者1日50名を目指す ・配架や展示が工夫され、本が読みたくなる、興味が湧く空間が作られている 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規活動の企画・実施(1～2件)(例)「入安居のお菓子作りイベント」 ・既存の活動を内容検討しつつ継続する ・スタッフ研修(図書館配架・展示)と実践 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規活動の企画・実施(1～2件) ・既存の活動を内容検討しつつ継続する ・スタッフ研修(図書館配架・展示)と実践 ・学校図書室・室へのアドバイス 	<ul style="list-style-type: none"> ・新規活動の企画・実施(1～2件) ・既存の活動を内容検討しつつ継続する ・スタッフ自身による図書館配架や展示の検討と継続 ・学校図書室・室へのアドバイス
	<p><新規事業案件形成></p> <p>◆これまでの経験を生かし、内容を発展させた、読書推進事業の案件を形成する</p>	<p>【JICA草の根技術協力事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規事業案件が形成され、事業提案をおこない、事業実施契約が結ばれる 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業案件形成のための調査・検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業案件形成のための調査・検討、計画策定 ・JICAとの申請のための調整打合 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業提案書を提出
2 出版	<p><質を意識した出版事業></p> <p>◆専門家のアドバイスを得て、質の高い書籍を出版する</p> <p>◆文化継承を意識した本、著作権を得た翻訳本などを含め、多様な本を計画的に出版できる体制をつくる</p>	<p>【指定募金・大学・企業など】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新刊、再版を合わせて合計6～10タイトルの図書・紙芝居を出版 ・スタッフが、計画立案から出版までの図書製作業務に関する技能(編集、デザイン、デザインソフト使用、校正など)を習得する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出版2～3タイトル(新刊1、再版1～2) 計画:新刊『おおきななぶ』 ・スタッフ研修(編集、デザイン、デザインソフト使用、校正)の実施 ・新刊「アッタプーの詩」(仮題)の企画検討 ・現状調査、ニーズ調査の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・出版2～3タイトル(新刊1、再版1～2) 計画:新刊『アッタプーの詩』 ・再版『星の王子さま』 ・スタッフ研修の実施(ニュースレター発行の実地研修など) ・ニーズ調査をおこなう ・売れる本の出版 ・展開の方針案を作成する ・e-booksなどとの連携を検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・出版2～4タイトル(新刊1、再版1～3) ・新刊図書の配付先、販売先の新規開拓 ・スタッフ研修の実施 ・次期出版計画の為の情報収集 ・売れる本の出版 ・WEB上で公開を開始する
	<p>◆市場を意識した出版を企画する</p> <p>◆デジタル図書出版に対応できるように準備をする</p> <p>◆将来的な自立を目指し、可能性を検討する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・資金調達とリンクさせる ・デジタル図書の著作権を整備、契約更新に取り組む ・WEB上での図書紹介が具体化する 	<ul style="list-style-type: none"> ・著作権にデジタル許諾を含ませる 		
3 子どもセンター	<p><時代に合った施設運営支援></p> <p>◆子どもセンターが安定した運営が可能となるようアドバイスをする</p> <p>◆地域の文化継承に結びついた活動を検討する</p> <p>◆青年海外協力隊員 元隊員と連携した活動をおこなう</p>	<p>【指定募金、自己資金】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各センターが定期的に開館し、継続的な運営ができるようになっていく ・3箇所のセンターで活動支援を実施 ・子どもセンター支援の輪が広がる 	<ul style="list-style-type: none"> ・当会が設置・サポートしてきた子どもセンター(CCC,CEC)の状況調査 ・支援・連携する子どもセンターの検討・選択 ・関係する隊員、元隊員との情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援、連携方法の検討 ・子どもセンターで「おりがみワークショップ」の実施 ・小規模で、必要な支援・連携の実施 ・隊員と連携した活動や支援について検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援、連携方法の検討 ・子どもセンターでの協働活動の実施 ・小規模で、必要な支援・連携の実施

項目	戦略目標	【資金】 指標	2019年度 2019年7月～2020年6月	2020年度 2020年7月～2021年6月	2021年度 2021年7月～2022年6月
4 奨学金事業	<独自事業の形成> ◆継続して事業を受託 ◆新規奨学金事業を形成	【サイアムセメントグループ(SCG)】 ・SCGプログラムの受託継続 【マンスリーサポーター】 ・N連事業を実施する中等学校にて、新規奨学金プログラムを実施	・受託、実施の継続 ・事業立案、10名の生徒に対して奨学金の給付を開始	・受託、実施の継続 ・20名の生徒に対し奨学金を給付	・受託、実施の継続 ・30名の生徒に対し奨学金を給付 ・モニタリング
5 日本国内事業	<支援者拡充の意識> ◆各種イベント 効果と効率を考えた選択的な主催と参加 ◆出前講座活動 開発教育として実施 ◆ラオス語絵本プロジェクト 支援者拡大及び開発教育として実施 ◆書き損じハガキ収集 資金調達及び、支援者拡大	・新規の名簿登録者が3年間で300名増加する ・FBページフォロワー1500人獲得 ・学校などを訪問して実施する「出前講座」を継続実施 ・年間参加者25件を維持し、合計1500冊の絵本をラオスに届ける ・翻訳絵本リストを改訂し、新規絵本のタイトルを5冊追加する ・年間100件、2000枚を目標に、書き損じ葉書、未使用切手の収集を継続	・イベントの主催と参加 ・新規名簿登録100名 ・FBページフォロワー1100人獲得 ・年間2～3件の出前講座を実施 ・年間参加者25件、500冊の完成 絵本をラオスに届ける ・翻訳絵本リストに追加する絵本を検討し、決定する ・年間100件、2000枚を目標に、書き損じ葉書、未使用切手を収集 ・新規支援者を開拓する	・イベントの主催と参加 ・新規名簿登録100名 ・FBページフォロワー1300人獲得 ・年間2～3件の出前講座を実施 ・年間参加者25件、500冊の完成 絵本をラオスに届ける ・翻訳絵本リストに追加する絵本のラオス語訳を依頼 ・年間100件、2000枚を目標に、書き損じ葉書、未使用切手を収集 ・新規支援者を開拓する	・イベントの主催と参加 ・新規名簿登録100名 ・FBページフォロワー1500人獲得 ・織物商品の新規委託先の開拓 ・年間2～3件の出前講座を実施 ・年間参加者25件、500冊の完成 絵本をラオスに届ける ・翻訳絵本リストに新規絵本が追加される ・年間100件、2000枚を目標に、書き損じ葉書、未使用切手を収集 ・新規支援者を開拓する

II 組織運営

■東京事務所

項目	戦略目標	2019年度 2019年7月～2020年6月	2020年度 2020年7月～2021年6月	2021年度 2021年7月～2022年6月
1 事業運営	◆成果の継続と発展を重視する。 ◆専門家の助言を生かし、読書環境の充実に取り組むことで、活動の質をより高める ◆会員及び支援者の継続率が向上するとともに、新規支援者を獲得する	・読書推進の専門家・活動家と連携し、プロジェクト運営の質を高める ・会員および支援者による継続支援のツールとして、「広報」活動を継続する	・読書推進の専門家・活動家と連携し、プロジェクト運営の質を高める ・継続率が維持されるとともに、新規支援者が増加し、寄付金収入が増額する	・専門家のアドバイスに基づき、事業の改善点を明らかにして、第9次中期計画につなげる ・「広報」についてアンケート調査を実施し、改善点を第9次中期計画に生かす
2 組織運営	◆事業の評価指標が整備され、事業が適切にモニター、評価される (ラオス事務所との共有が常におこなわれる) ◆業務分掌規程と職務推進マニュアルの整備が進み、効率的な働きとなる	・モニタリングにより定期的に報告書が作成され、評価が実施される ・東京事務所が担う事業の指標を開発する ・両事務所の情報共有が確実となるよう、報告書の共有をすすめる	・モニタリングにより定期的に報告書が作成され、評価が実施される ・ラオス事務所から、MoUに定められた定期的な報告書が共有される	・両事務所の2020年度事業報告と2021年度の中間報告に掲載される評価を第9次中期計画につなげる ・業務分掌規程が理事会で承認される
3 資金調達力	◆これまでの寄付金及び事業補助金を維持しつつ、「ファンディング」に基づいた新たな寄付者を獲得する ◆定期的な特別募金(夏&冬)の実施 ◆マンスリーサポーター制度の定着・促進 ◆自然災害発生時などの緊急募金の実施、遺贈制度の開始	・ニュースレター、年次報告書、HP、ブログ、FB、メールリストなど、各コミュニケーションツールの対象(読者)に応じた発信活動がおこなわれる ・年に二度の特別募金が企画され、提案書の承認を得て実施される ・マンスリーサポーター制度に新規10口の加入を得る ・緊急募金実施要項の作成 遺贈制度の研究	・ニュースレター、年次報告書、HP、ブログ、FB、メールリストなど、各コミュニケーションツールの対象(読者)に応じた発信活動がおこなわれる ・年に二度の特別募金が企画され、提案書の承認を得て実施される ・マンスリーサポーター制度に新規10口の加入を得る ・緊急募金対応 遺贈制度実施要項の制作	・ニュースレター、年次報告書、HP、ブログ、FB、メールリストなど、各コミュニケーションツールの対象(読者)に応じた発信活動がおこなわれる ・年に二度の特別募金が企画され、提案書の承認を得て実施される ・マンスリーサポーター制度に新規10口の加入を得る ・緊急募金対応 遺贈制度対応
5 人材育成	◆専門家とアドバイザーの指導と協力を受けつつ、着実な人材育成に取り組む	・募金、広報、事業評価、図書館運営、出版の領域で実務研修を重ねる	・募金、広報、事業評価、図書館運営、出版の領域で実務研修を重ねる	・募金、広報、事業評価、図書館運営、出版の領域で実務研修を重ねる

■ラオス事務所

項目	戦略目標	2019年度 2019年7月～2020年6月	2020年度 2020年7月～2021年6月	2021年度 2021年7月～2022年6月
1 事業運営	◆「読書推進」「出版」「子どもセンター」の3主要事業を着実に実施する ◆事業実施の前提となるラオス政府との覚書MoU・MoA、各種許可などに必要な用件を着実に実施し更新する	・MoUに定められた報告書の提出、評価会議の開催、所轄庁への報告を確実に実行する ・MoU II の締結を進める	・MoUに定められた報告書の提出、評価会議の開催、所轄庁への報告を確実に実行する	・MoUに定められた報告書の提出、評価会議の開催、所轄庁への報告を確実に実行する ・MoU I 更新の準備を始める
2 組織運営	◆事業の実施において、事業立案、計画、評価活動のサイクルが実施される ◆活動理念・使命の共有が進む ◆スタッフ会議が定期的開催され、月例報告書が所長より東京事務所へ提出される ◆業務分担が明確になり責務を果たす	・事業の実施状況の振り返りが行われ、事業計画案と予算案の策定に反映される ・スタッフ会議が定期的開催され、各事業の進捗確認、振り返り、実施計画、調整、業務分担確認などがおこなわれる。 ・上記に係わる月例報告が東京事務所へ提出される	・事業の実施状況の振り返りが行われ、事業計画案と予算案の策定に反映される ・スタッフ会議が定期的開催され、各事業の進捗確認、振り返り、実施計画、調整、業務分担確認などがおこなわれる。 ・上記に係わる月例報告が東京事務所へ提出される	・事業の実施状況の振り返りが行われ、事業計画案と予算案の策定に反映される ・第8次中期計画の振り返りが行われ、次期中期計画の策定に反映される ・スタッフ会議が定期的開催され、各事業の進捗確認、振り返り、実施計画、調整、業務分担確認などがおこなわれる。 ・上記に係わる月例報告が東京事務所へ提出される

項目	戦略目標	2019年度 2019年7月～2020年6月	2020年度 2020年7月～2021年6月	2021年度 2021年7月～2022年6月
3 資金調達	<p><図書の販売></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆販売委託先を49か所に増やし、販売冊数を増やす ◆出版計画と連動した販売戦略をたてる <p>-----</p> <p><受託事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆奨学金の受託事業を継続する ◆NGOなどからの図書セット制作の受託事業を継続する <p>-----</p> <p><新規事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ◆自己資金の拡充のため募金(寄付)パッケージが開発される 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託販売先を現在の34か所から5か所増やす ・販売実績のデータを整理、分析する ・売れる本の開発 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奨学金事業の受託を継続 ・図書セット制作の受託事業を継続 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募金(寄付)パッケージを検討する 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託販売先を5か所増やす ・ニーズを踏まえ販売本を2タイトル出版する <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奨学金事業の受託を継続 ・図書セット制作の受託事業を継続 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募金(寄付)パッケージの企画書が作られる 	<ul style="list-style-type: none"> ・委託販売先を5か所増やす ・ニーズを踏まえ販売本を2タイトル出版する <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奨学金事業の受託を継続 ・奨学金事業の評価活動をおこなう ・図書セット制作の受託事業を継続 <p>-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ・募金(寄付)パッケージが実施される
4 人材育成	<ul style="list-style-type: none"> ◆専門家の指導と協力を受けつつ、着実な人材育成に取り組む ◆所長のマネジメント能力を高めるOJTを実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイでの学校図書館の活動事例を視察するスタッフの研修を実施する ・専門家の指導により、出版プロセスを通しての実務研修をおこなう ・ALC図書館の魅力を高めるため、専門家によるOJTをおこなう ・スタッフ会議の開催と月例報告の作成を駐在員がサポートする ・月例報告に対し、東京事務所が定期的にフィードバックを行い、その質を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・タイでの研修成果を、読書推進事業の実施において実践する ・専門家の指導により、出版プロセスを通しての実務研修をおこなう ・ALC図書館の魅力を高めるため、専門家によるOJTをおこなう ・スタッフ会議の開催と月例報告の作成を駐在員がサポートする ・月例報告に対し、東京事務所が定期的にフィードバックを行い、その質を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修及びその後の実践活動の評価をおこない次期計画を立案する ・専門家の指導により、出版プロセスを通しての実務研修をおこなう ・ALC図書館の魅力を高めるため、専門家によるOJTをおこなう ・スタッフ会議の開催と月例報告の作成を駐在員がサポートする ・月例報告に対し、東京事務所が定期的にフィードバックを行い、その質を高める